

学校評価(教職員による自己評価と保護者の評価)の集計

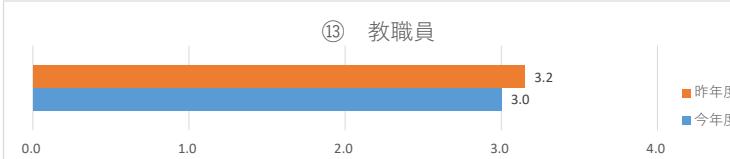
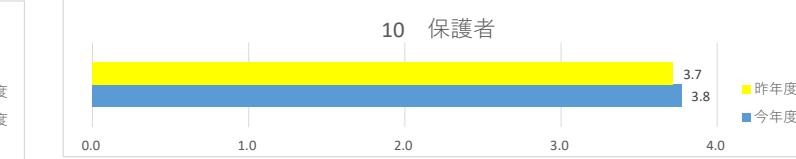
令和6年度米沢養護学校長井校

評価基準 4良い 3 ほぼ良い 2 やや改善 1要改善 で教職員(13名)保護者(22名)で評価しました。

結果は、評価基準を得点化して平均値で表しています。最高値は4点です。

						今後に向けて
①	教職員： 児童を真ん中に置き、児童生徒の人格と主体性を尊重した教育を推進していると思いますか。	保護者： 長井校は、子どもを真ん中に置いた教育を推進していると思いますか。	① 教職員	1 保護者		・児童の人間性を尊重し、学校生活の中で名前を呼ぶ際は、「さん」「くん」だけで呼ぶことを改めて確認していく。 ・児童にとっての主体性について、児童一人一人について話し合い共有することで、一人一人の児童が「わかった」「できた」という達成感や次時への意欲を、日々の学習で持てるようになる。 ・児童への支援や関わり等において困ったことなどがあった場合は、一人で悩まず周りの教員に相談したり、学部会等で話題に挙げたりする。
②	教職員： 一人一人の実態を的確に把握し、個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づいた指導・支援の充実を図り、適切な評価の下、PDCAサイクルを積極的に回して更なる指導・支援の改善に取り組んでいると思いますか。	保護者： 一年間の支援方針をもとに、一人一人に応じた支援が行われていると思いますか。	② 教職員	2 保護者		・授業記録を基にした目標設定の仕方を研究して取り組んだことで、目標や手立てを設定するまでの流れや大事な視点について共有できた。これまでの指導方針、個別の指導計画、日々の授業記録の関連付けの整理の必要性が分かったと考える。これまで以上に一人一人に応じた学習が行われるように関連付けについて整理していく。 ・自立活動の実態把握表、教科の学習内容表を用いた客観的な実態把握を活用し、一人一人の児童の課題を明らかにし、児童に応じた支援や課題設定を行う。
③	教職員： 教職員が各々の得意分野や専門性を生かし、協働して児童に必要な資質・能力を育成していると思いますか。	保護者： 学級担任を中心として、組織的に学級経営がなされていると思いますか。	③ 教職員	3 保護者		・教材研究や教材作成などで教員間の協働的な面が見られたり、自作の教材や学習プリントなどを展示して見合ったり、互いの実践から指導力の向上につながる取り組みを今後も継続していく。 ・学習や生活面などで気になる児童のケース会議の開催を、担任だけでなく特別支援コーディネーターが発信して開催している。今後も学年学級、担任の枠に縛られない、教員間の情報共有、きめの細かい話し合いを大事にしていく。
④	教職員： 学びの連続性を意識した教育課程の編成と、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行っていると思いますか。		④ 教職員			・今年度の実践を振り返り、次年度の実践に活かせるようにするため、今年度の学習の取り組みをいつでも見られるようにデータで引継ぎ、学びのつながりを意識した指導やステップアップした指導などを計画していく。 ・授業改善の視点として、教員からの児童への支援が中心だけでなく、児童同士のやりとりを通して学ぶ学習展開も、学習活動や児童の実態によって取り入れていく。
⑤	教職員： 「社会に開かれた教育課程」を追求し、保護者・地域・関係機関等との連携を密にして効果的な教育活動と信頼される学校づくりを推進していると思いますか。	保護者： 児童生徒や保護者、地域、関係機関から信頼される学校づくりをしていると思いますか。	⑤ 教職員	4 保護者		・保護者、地域に向けて学校だより(毎月)、学校生活の紹介(学期ごと)に関する情報を学校ホームページで発信したり、関係機間に学校だよりを掲示したりすることで、学校教育活動の取組について理解を深める。 ・県、市、地区的作品展に児童作品を積極的に出展したり、市主催の環境整備活動に参加したり、地域と連携した学習活動をしていく。 ・相談業務、授業研究支援等を通して西置賜地区の特別支援教育に貢献していく。
⑥	教職員： 自立と社会参加に向けたキャリア教育と進路指導を推進していると思いますか。	保護者： 将来の社会参加と自立に向けて、お子さんに合った支援がなされていると思いますか。	⑥ 教職員	5 保護者		・キャリア教育全体計画(長井校版)を作成し、児童の発達段階に応じたキャリア教育の視点に立った学習内容を検討し、実践していく。 ・「進路だより」による保護者への進路情報やキャリア教育の実践などについて紹介する。 ・教員向けの進路研修会を実施し、進路先や福祉制度、社会で求められる力等を十分に理解し、教育活動に活かす。

<p>教職員： ICTの更なる活用の促進と心とからだの教育、情報教育の推進をしていると思いますか。</p> <p>⑦ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	3.2	今年度	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 日々の実践を通して教員のICT活用のスキルが向上し、児童たちの興味関心を高めながら、効率的に授業を行うことができているが、さらに学校全体としてICTの有効活用に取り組むため、校内におけるICT研修会を計画的に実施していく。 児童によって、ICTを学習場面にかかわらず、日常場面での活用についても検討していく。 						
年度	スコア												
昨年度	3.2												
今年度	3.1												
<p>教職員： 豊田小等との連携と交流及び共同学習は充実していると思いますか。</p> <p>⑧ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>2.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者： 豊田小等との連携、交流及び共同学習(居住地校交流)が充実するよう取り組んでいると思いますか。</p> <p>6 保護者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	2.9	今年度	2.9	年度	スコア	昨年度	3.2	今年度	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 豊田小学校との中間休み交流では、必要に応じて教員が仲立ちをして関わり遊びを促したり、一緒に遊べる遊具を用意したりしていく。また、学校ホームページや学校、学級だよりなどで交流や関わりの様子を伝え、より周知を図る。 居住地校交流では、意図的に児童同士が関わる場面を設定したり、児童の実態に応じて、手紙やオンラインなどの比較的継続しやすい間接交流等も検討したりする。 新たな交流活動の取り組みとして、次年度、西置賜校、やまなみ分教室、長井校が集まり開催する「3校合同まつり」が実施できるように連携を図りながら計画的に準備する。
年度	スコア												
昨年度	2.9												
今年度	2.9												
年度	スコア												
昨年度	3.2												
今年度	3.5												
<p>教職員： 西置賜地域における特別支援教育のセンター的機能が充実していると思いますか。</p> <p>⑨ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	3.3	今年度	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 外部の教育相談や巡回相談等での助言や情報提供、放課後等デイサービスや福祉機関等への学校だよりの配布や情報交換など、地域の学校としてセンター的役割を担っていく。 相談業務は、特別支援教育コーディネータや相談担当が主として担当するが、長期的な展望として、できるだけ全教員が担当を担えるようにするため、時期や内容によって業務を分担して行い一人一人の専門性を高めていく。 						
年度	スコア												
昨年度	3.3												
今年度	3.4												
<p>教職員： 分かる授業、できる授業に取り組んできましたか。</p> <p>⑩ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者： 分かる授業、できる授業に取り組んできましたが、いかがでしたか。</p> <p>7 保護者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	2.7	今年度	3.5	年度	スコア	昨年度	3.6	今年度	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 学級単位ではない課題別、上下学年グループでの学習など、児童の実態に応じた形態での学習を今後も推進していく。 丁寧な実態把握を踏まえ、授業づくりについて担当者間で十分に話し合って、実態に合った授業展開や具体的な手立てが見える授業を実践する。
年度	スコア												
昨年度	2.7												
今年度	3.5												
年度	スコア												
昨年度	3.6												
今年度	3.7												
<p>教職員： 発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたか。</p> <p>⑪ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者： 発達段階や年齢に応じた支援を心がけてきましたが、いかがでしたか。</p> <p>8 保護者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	3.3	今年度	3.0	年度	スコア	昨年度	3.7	今年度	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階、年齢に応じた学習内容、指導の仕方を常に心掛けていく。また、日常生活において、年齢に応じた伝え方(口調)、かかわり方、お互いの距離など、常に意識していく。 生活年齢を考えた距離感(ハグ、抱っこ、おんぶなどをしない)を意識ていき、教員間で共通理解して支援していく。
年度	スコア												
昨年度	3.3												
今年度	3.0												
年度	スコア												
昨年度	3.7												
今年度	3.7												
<p>教職員： 児童のサインや意思表示を大切にして関わってきましたか。</p> <p>⑫ 教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者： 児童生徒のサインや意思表示を大切にして関わってきましたが、いかがでしたか。</p> <p>9 保護者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スコア	昨年度	3.3	今年度	3.2	年度	スコア	昨年度	3.6	今年度	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 児童のサイン(言葉だけでなく表情や身振りなど)の意味を、学校と家庭、必要に応じて福祉事業所と共有し、理解することで、共通の対応ができるようにしていく。 意思表示が苦手な児童に対し、物事を選択する際に絵やイラストなどの選択カードを示したり、考える時間を十分に確保したりするなど、実態に応じた支援や配慮をする。
年度	スコア												
昨年度	3.3												
今年度	3.2												
年度	スコア												
昨年度	3.6												
今年度	3.7												

<p>⑬</p>	<p>教職員： 「えがお(個別の指導計画)」は分かりやすい内容を目指しましたか。</p> <p>⑬ 教職員</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.2, 3.0</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.0, 3.2</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.2, 3.0	今年度	3.0, 3.2	<p>保護者： 「えがお(個別の指導計画)」は分かりやすい内容でしたか。</p> <p>10 保護者</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.7, 3.8</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.8, 3.7</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.7, 3.8	今年度	3.8, 3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の指導内容、評価の記述を整理する。特に教員間による様式や表記の仕方について、適切な時期に共通理解のもと作成にあたる。 ・保護者面談等を通して十分に保護者の理解が得られるように、より分かりやすく、見通しのもてる個別の指導計画の作成に努める。
年	値														
昨年度	3.2, 3.0														
今年度	3.0, 3.2														
年	値														
昨年度	3.7, 3.8														
今年度	3.8, 3.7														
<p>⑭</p>	<p>教職員： 学校と医療や福祉関係機関との連携を十分に図ってきましたか。(教職員のみ)</p> <p>⑭ 教職員</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.1, 3.1</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.1, 3.1</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.1, 3.1	今年度	3.1, 3.1		<ul style="list-style-type: none"> ・学校医、保護者と連携を図り、児童の病状、アレルギー等に応じた緊急時の対応マニュアルを整備し、年度初めや必要な時期に全職員で対応について共有を図る。 ・福祉関係機関とは、必要に応じてケース会議や情報共有を実施していく。また、送迎時等における日常的な情報交換も適宜行う。 						
年	値														
昨年度	3.1, 3.1														
今年度	3.1, 3.1														
<p>⑮</p>	<p>教職員： 全職員が学部経営・学校経営に積極的に参画してきましたか。(教職員のみ)</p> <p>⑮ 教職員</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.2, 3.2</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.2, 3.2</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.2, 3.2	今年度	3.2, 3.2		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明と意見の集約に心掛け、日々の学習活動や学校研究、授業づくりの方法など、全教員が意見を出し合い検討し合える、職員関係と環境を整えていく。 ・会議時間の確保、分かりやすい提案資料の作成、資料の事前配布に努め、全体の意見を集約しやすいよう効率的な会議運営を行う。 						
年	値														
昨年度	3.2, 3.2														
今年度	3.2, 3.2														
<p>⑯</p>	<p>教職員： 専門性の向上を目指して研究・研修等に取り組んできましたか。(教職員のみ)</p> <p>⑯ 教職員</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.1, 3.1</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.1, 3.1</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.1, 3.1	今年度	3.1, 3.1		<ul style="list-style-type: none"> ・校外における授業研究会や研修会、長井校にとって必要な研修に積極的に参加し、研修報告会等で成果の共有を図り、普段の授業実践に般化していく。 ・児童の支援や学習指導、保護者対応等で、より専門的な研修を深めるため、県の事業を利用して外部から専門の講師等を招いて研修会を実施する。 						
年	値														
昨年度	3.1, 3.1														
今年度	3.1, 3.1														
<p>⑰</p>	<p>保護者： お子さんは、学校に登校するのを楽しみにしていますか。(保護者のみ)</p> <p>11 保護者</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昨年度</td> <td>3.6, 3.6</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td>3.6, 3.6</td> </tr> </tbody> </table>	年	値	昨年度	3.6, 3.6	今年度	3.6, 3.6		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学びの情報発信を積極的に行う。 ・保護者が安心して児童を学校に送り出せるような、また、児童が学校生活を楽しんで送れるような学校生活を目指す。 						
年	値														
昨年度	3.6, 3.6														
今年度	3.6, 3.6														
<p>保護者からの意見(記述)</p>		<p>・⑧について、豊田小学校との交流だけでなく本校や西置賜校との交流もあったらいいと思う。本校の米養まつりのようなものがあってほしい。</p>													